

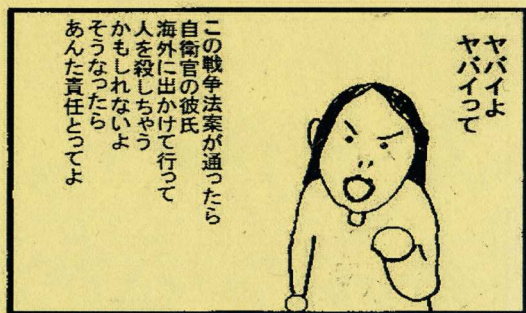
止めよう！戦争法案

話せなかった時代

日本の敗戦から70年が経ちました。戦前の日本では戦争のことに
ついて、ちゃんと話し合うことが出
来ませんでした。その結果、どうな
ったのでしょうか、日本の軍隊はアジ
ア各地にでかけてゆき、たくさん
人を殺しました。そして日本人も
たくさん戦争の犠牲になりました。

狙いはどこでも自衛隊

戦後、日本は他国と戦争するこ
とは一度もありませんでした。世
界中の人々が「日本は戦争をしない
国」と信じているのは、「絶対に戦争
はしない」と憲法で定め、それを7
0年間ちゃんと守り通してきたか



らです。いま国会では「安全保障関連法案」の
審議が行われています。この法案のことを「戦
争法案」という人もいますが、新しい法律をつ
くり、アメリカ軍をはじめとする同盟国の軍
隊が戦争を始めたときに、日本の自衛隊が、
世界中どこへでも武器を携え応援に駆け付け
ることができるとというのが法案の狙いです。
ドラえもん、の不思議なポケットから出てく
る「どこでもドア」ならぬ「どこでも自衛隊」を
安倍内閣は目指そうとしているのです。

攻められなかったのは

戦争は絶対にいやです。

自衛隊員を戦場に行か
せてはなりません。日本
の平和や安全は武器で
は守れません。

戦後、日本が他の国
から攻められなかった



東海民衆センター
不戦へのネットワーク
連絡先 名古屋市中区松原2丁目10-3
社会部文化センター5階 不戦ネット
電話 050-3593-130
Eメール: husen@jca.apc.org